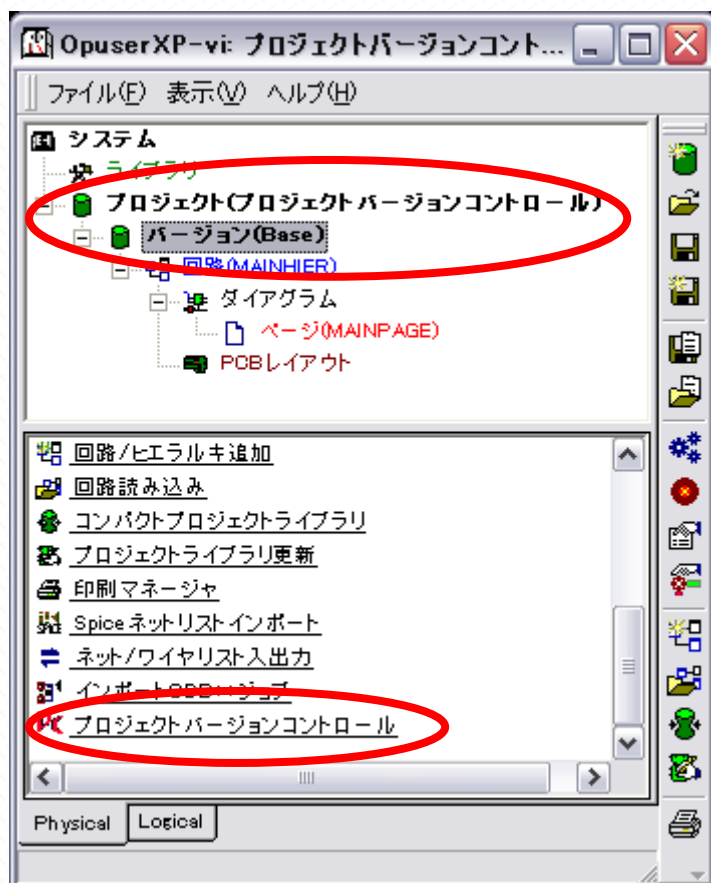


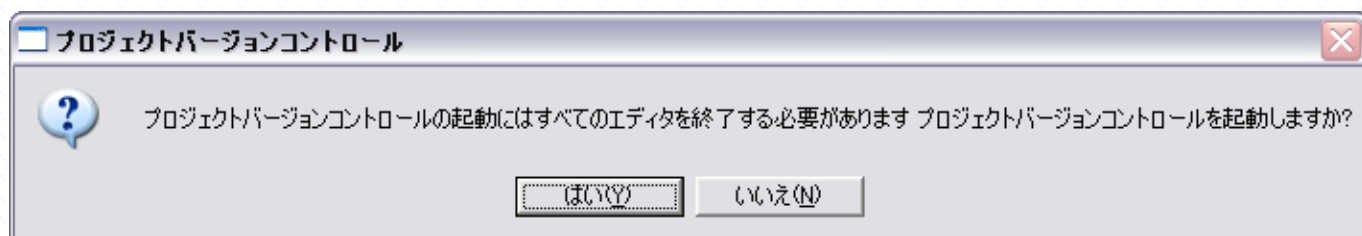
I. プロジェクトバージョンコントロール

OPUSERXP-7では、1つのプロジェクトファイル無いに、異なる編集段階（バージョン）の基板データを管理する事が出来ます。旧 OPUSER ファイル(*EPB)を使用して作業を行っている場合は、新 OPUSER で EPB ファイルを開き、新 OPUSER ファイル (*EPX) で保存する必要があります。

使用する箇所は“プロジェクト～”かもしくは“バージョン～”を選択して表示させる“プロジェクトバージョンコントロール”となります。通常は回路が若干異なる基板や、部品の配置を変更した基板等に使用しますが、ここでは簡単なデータを使用して操作の説明を行います。



選択すると下記のダイアログが表示、その他のエディタを終了して“はい”をクリックします。



表示されるコントロール画面にて、各バージョンの管理を行います。

アーカイブ	• 選択したバージョンに名前を付けて保存する
レストア	• 選択したバージョンを読み込む
削除	• バージョンの削除
リマーク編集	• リマークを編集する
名称変更	• 名称の変更
読み込み	• 別プロジェクトファイルをバージョンとして読み込む

Project version control

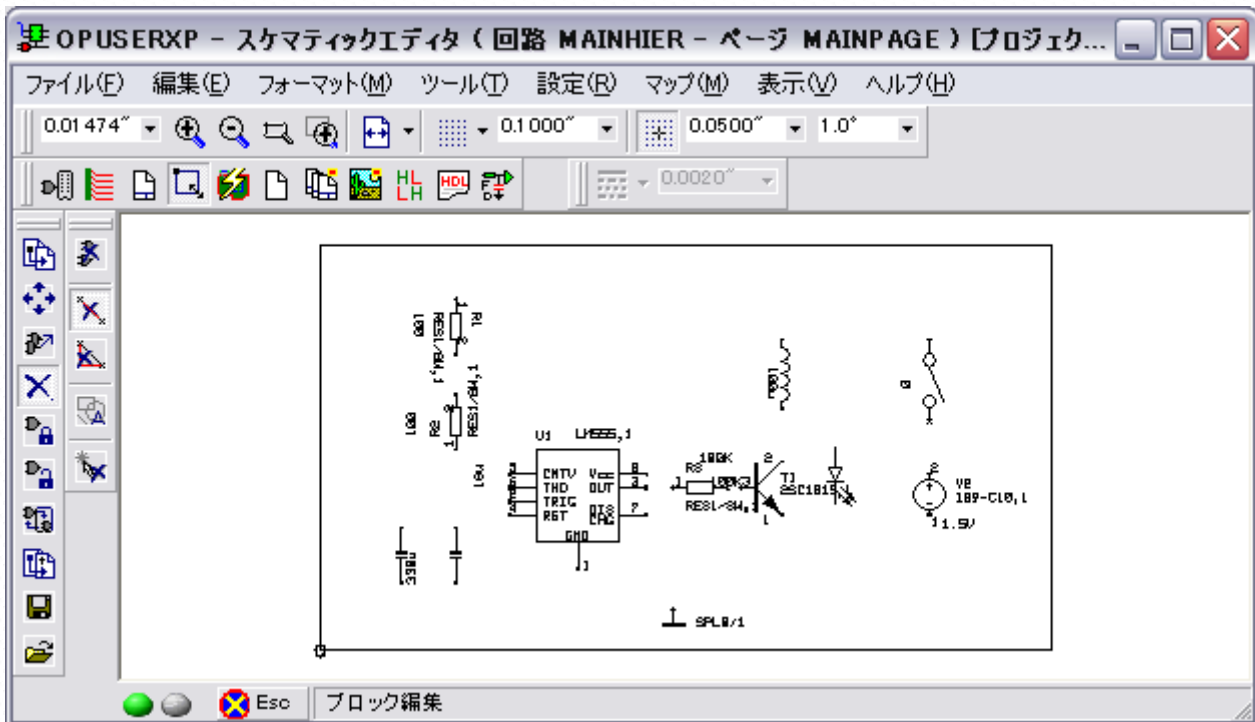
クリックしてバージョンを選択

Version	Date	Time	Name	Remarks
00	2009-10-30	09:21:49	Base	Base
01	2009-10-30	08:58:49	FULL	00

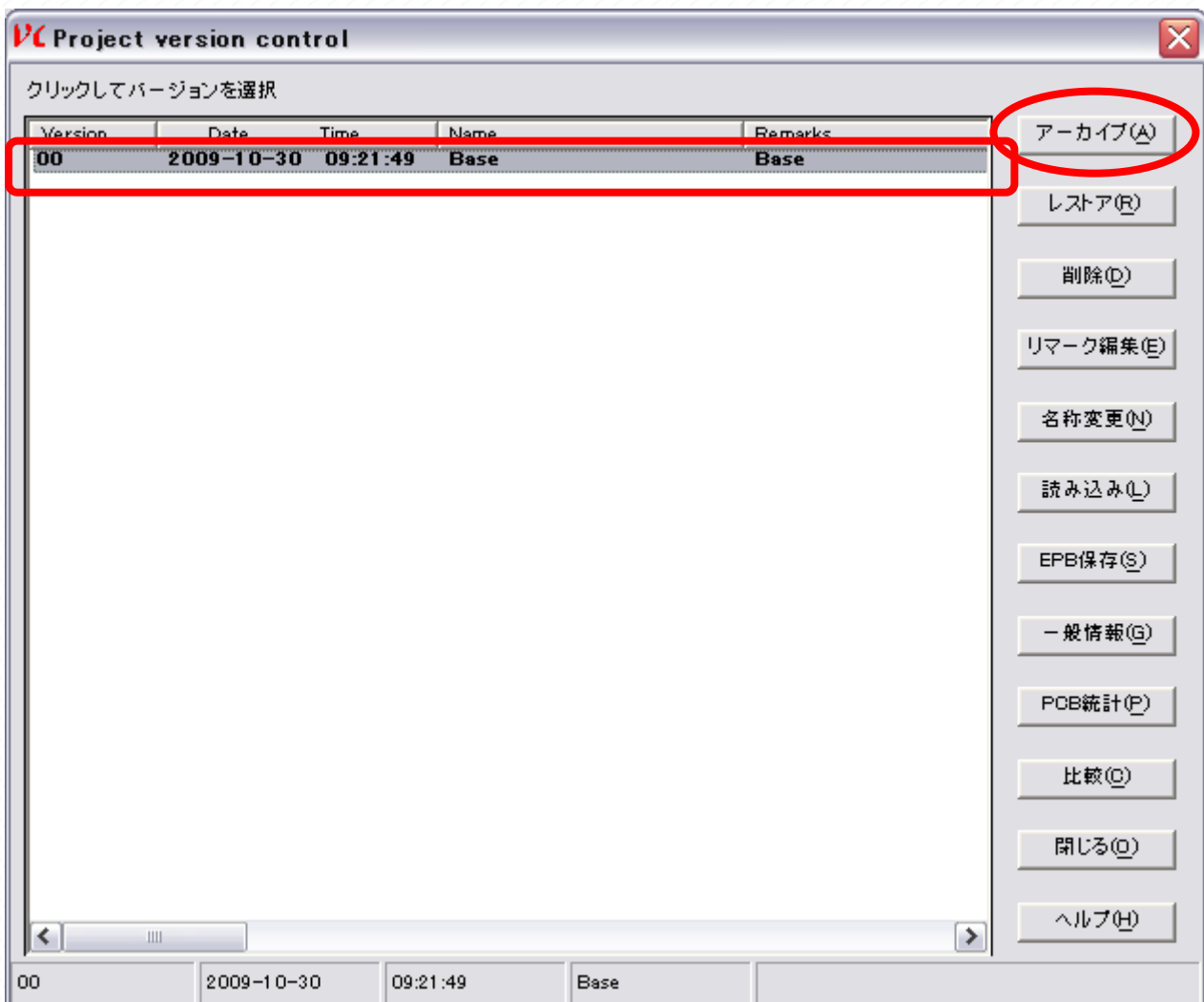
アーカイブ(A)
レストア(R)
削除(D)
リマーク編集(E)
名称変更(N)
読み込み(L)
EPB保存(S)
一般情報(G)
PCB統計(P)
比較(C)
閉じる(O)
ヘルプ(H)

00 2009-10-30 09:21:49 Base

回路記号の配置が終了した時点で1つのバージョンとして登録します。

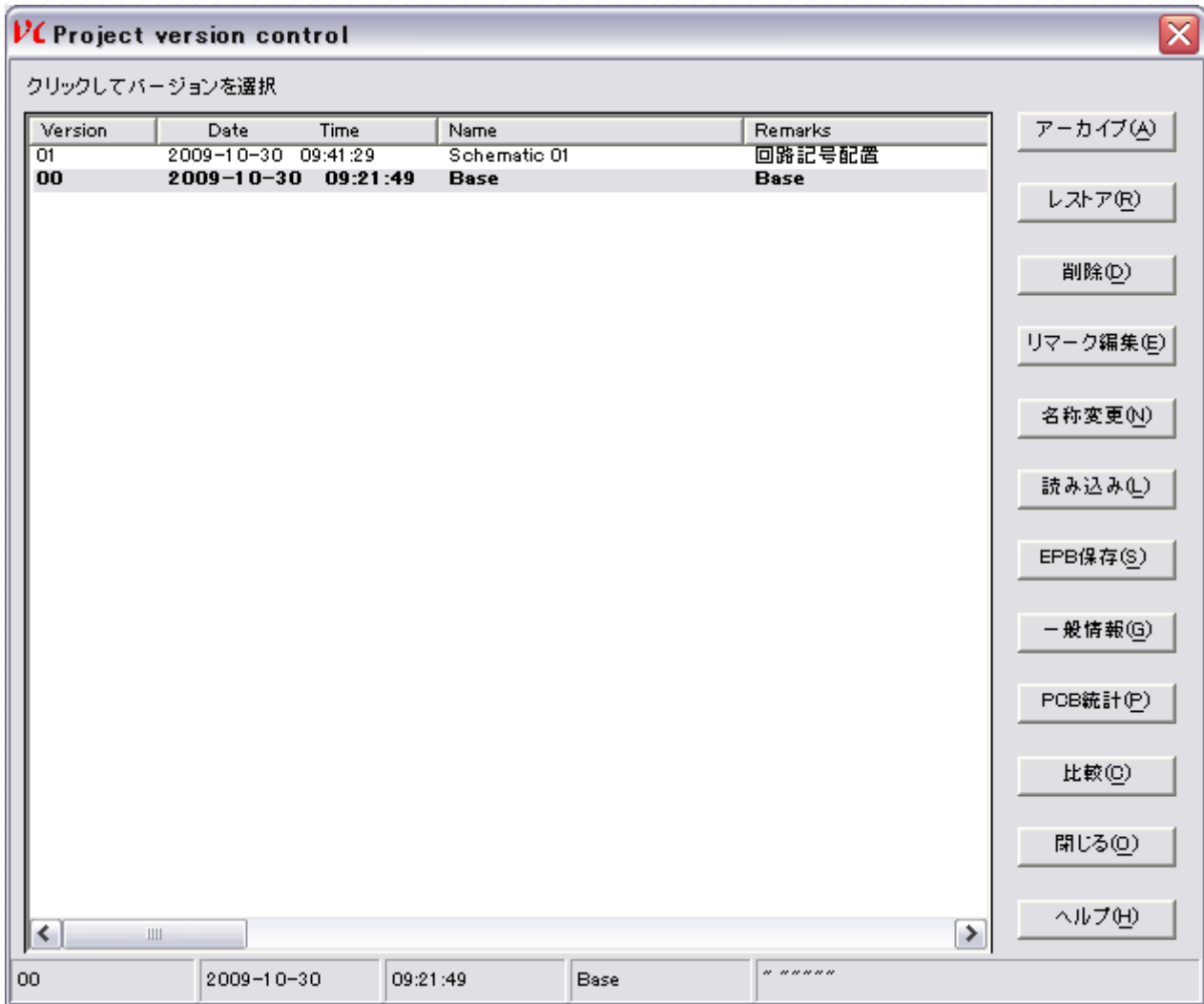


“Baseの行”をクリックして反転表示させ、“アーカイブ”をクリックします。

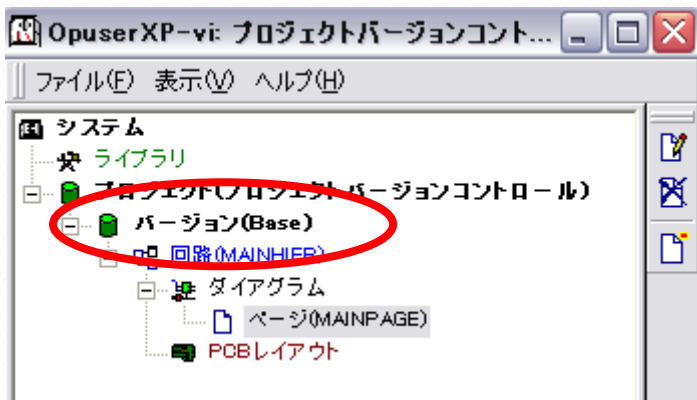


バージョンの名称 (Name)、所見 (Remark) を入力すると、下図の様に表示されます。ただし名称には半角英数しか使用できませんので注意してください。

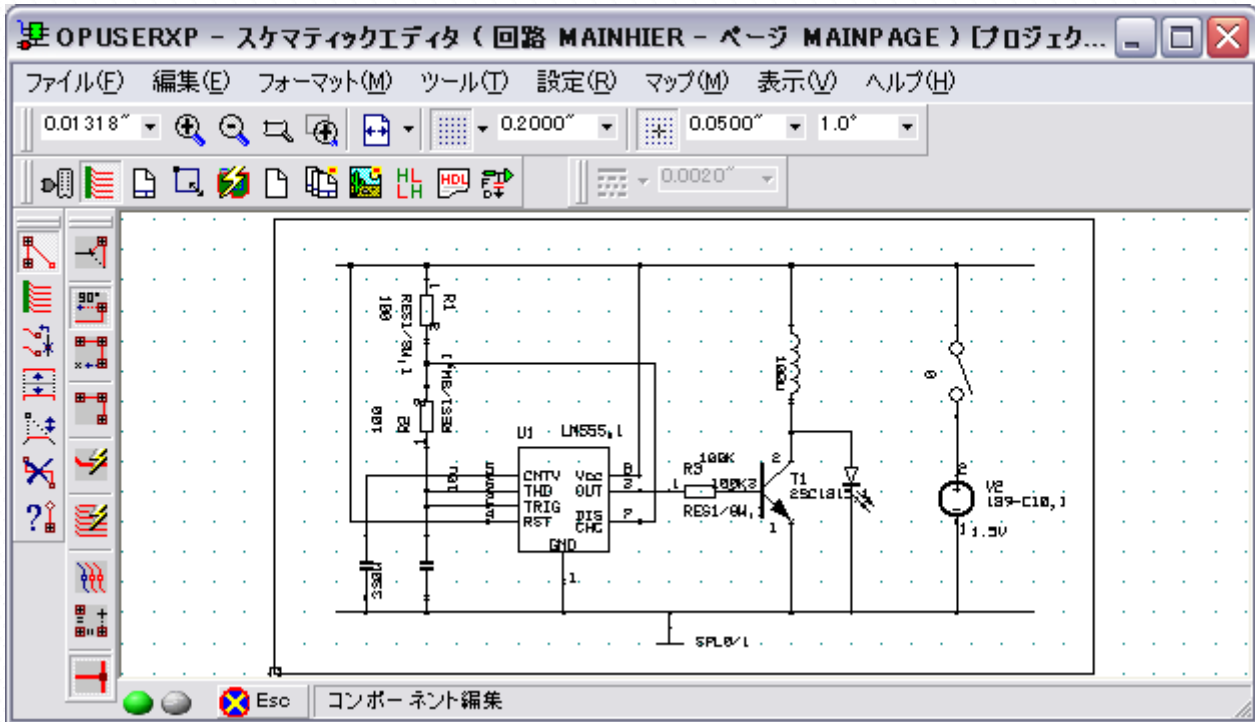
“アーカイブ” したバージョンが追加されます。



ただし編集自体は“Base”バージョンの編集を続ける事になりますので注意してください。OPUSER メインメニューにて編集中のバージョンが確認できます。



続けてワイヤリングを編集したバージョンを保存します。同じレイアウト画面にて部品配置を終了したもの、パターン配線を終了したものをアーカイブします。



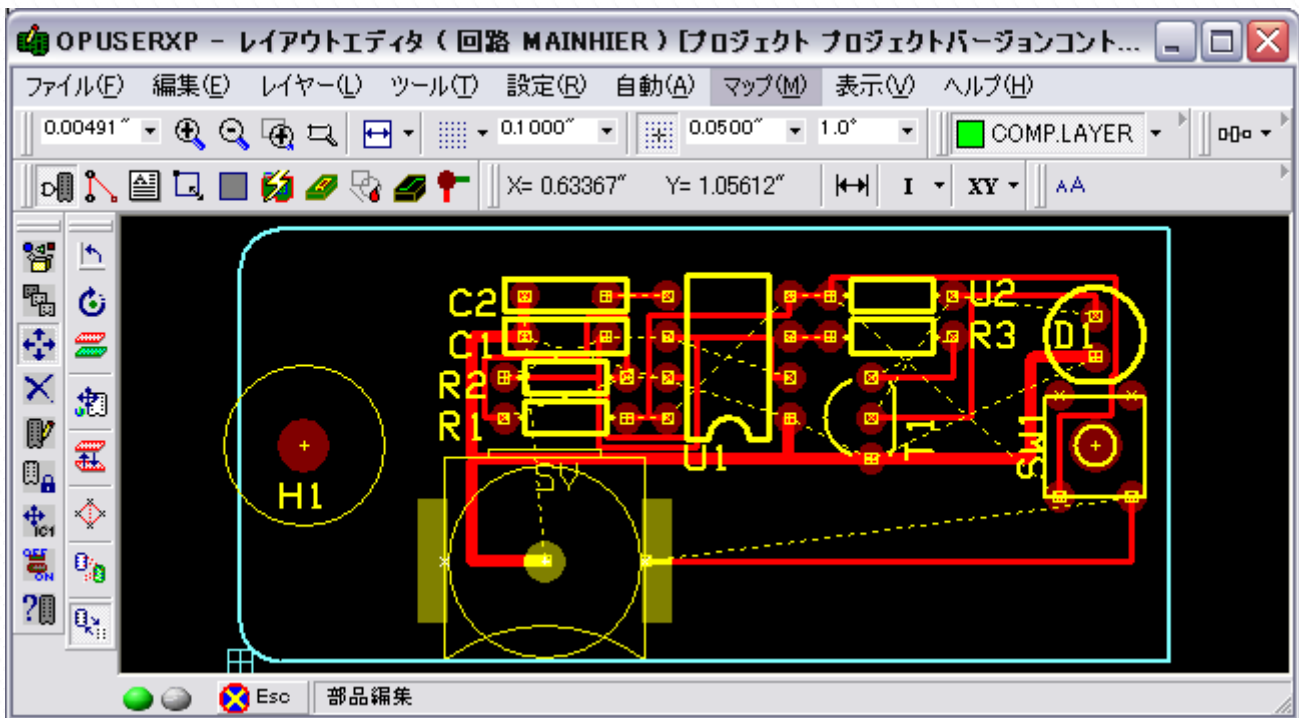
その際、必ず現在の作業バージョンを選択してアーカイブするよう注意してください

The screenshot shows the "Project version control" dialog box. The title bar reads "Project version control". The main area contains a table with the following data:

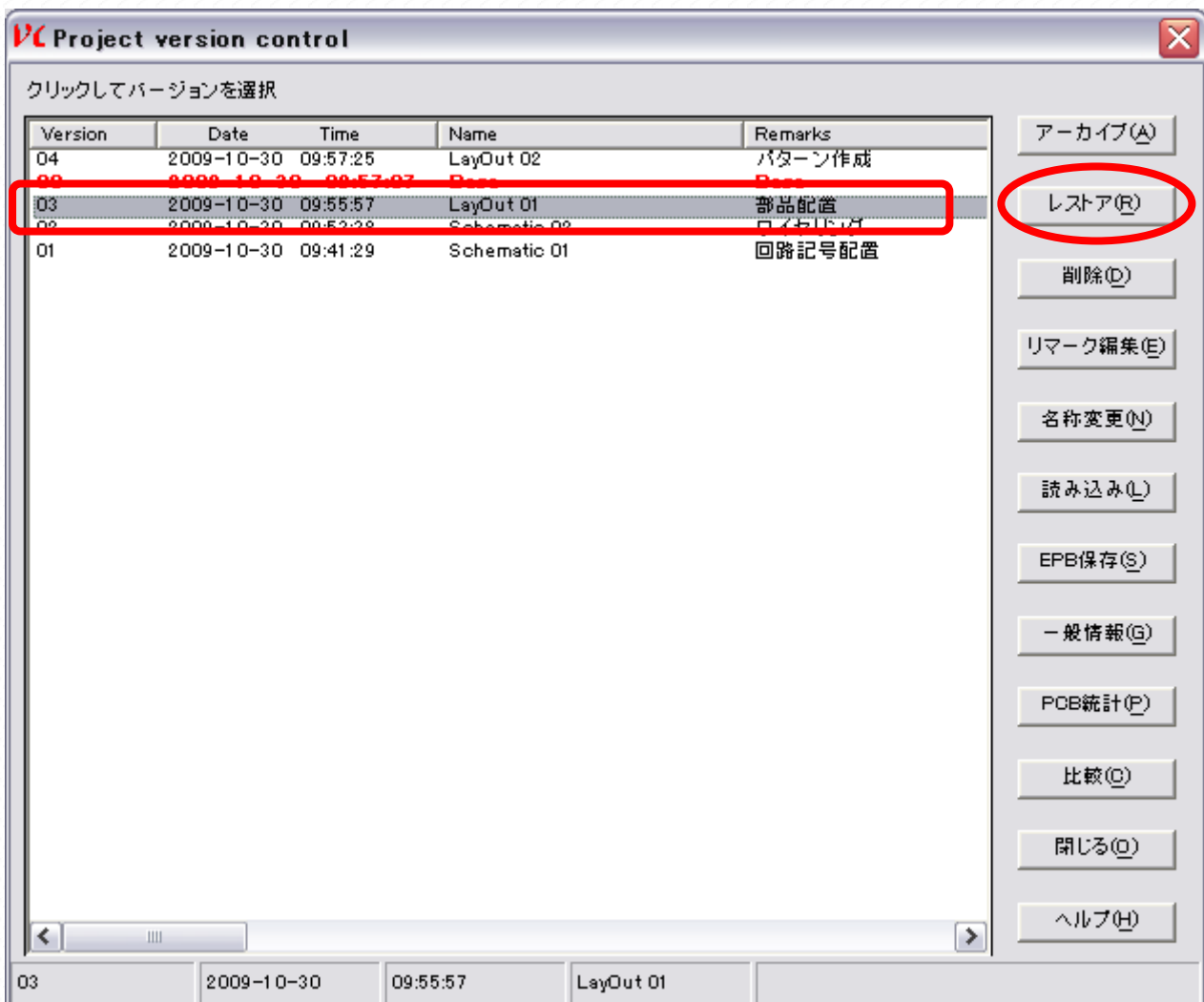
Version	Date	Time	Name	Remarks
00	2009-10-30	09:57:07	Base	Base
01	2009-10-30	09:41:00	Schematic 01	回路記号配線
02	2009-10-30	09:53:38	Schematic 02	ワイヤリング
03	2009-10-30	09:55:57	LayOut 01	部品配置
04	2009-10-30	09:57:25	LayOut 02	パターン作成

The "00" version row is highlighted with a red rectangle. To the right of the table is a list of actions, with "アーカイブ(A)" (Archive) highlighted by a red circle. Other actions include "ストア(R)", "削除(D)", "リマーク編集(E)", "名称変更(N)", "読み込み(L)", "EPB保存(S)", "一般情報(G)", "PCB統計(P)", "比較(C)", "閉じる(O)", and "ヘルプ(H)". The status bar at the bottom shows "00", "2009-10-30", "09:57:07", "Base", and "*****".

基板を片面配線で作成しましたが、未配線のバージョンを読み込み、そこから両面基板バージョンを作成します。

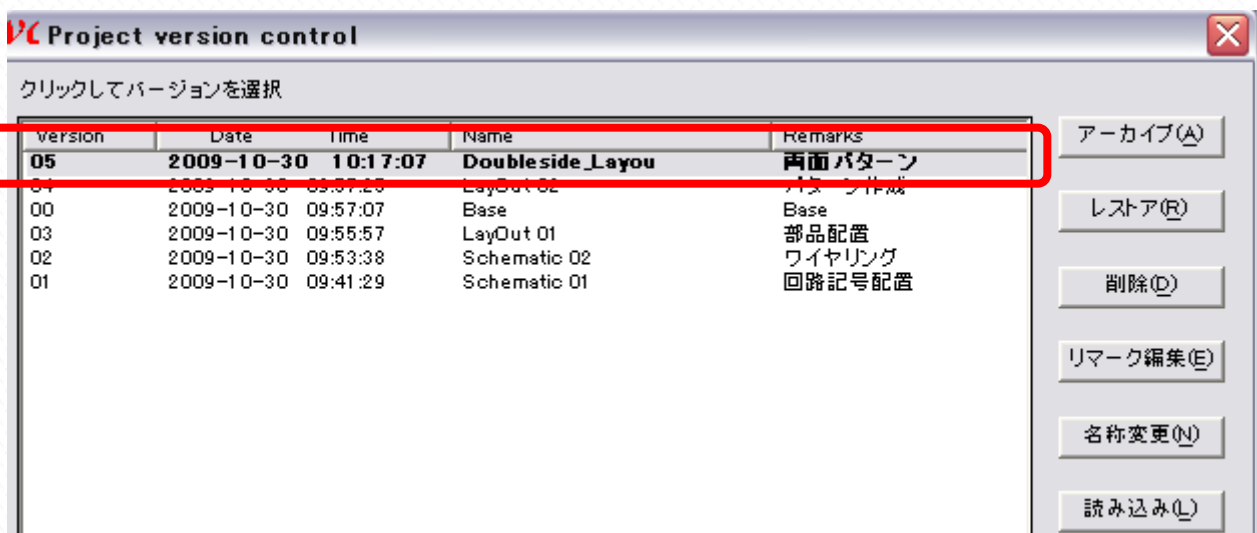
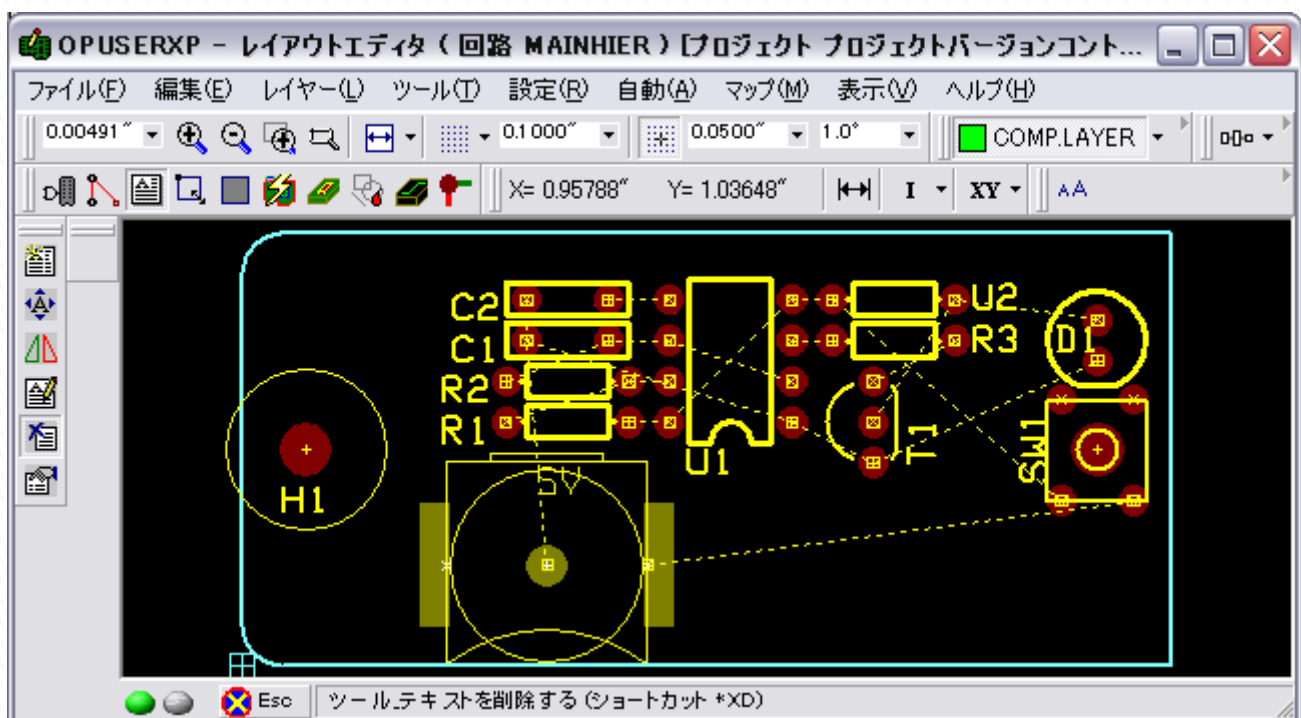
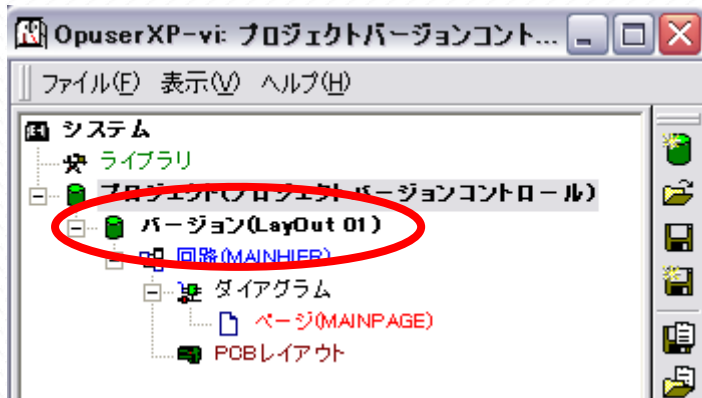


部品配置を行った段階のバージョンを選択し“レストア”をクリックします

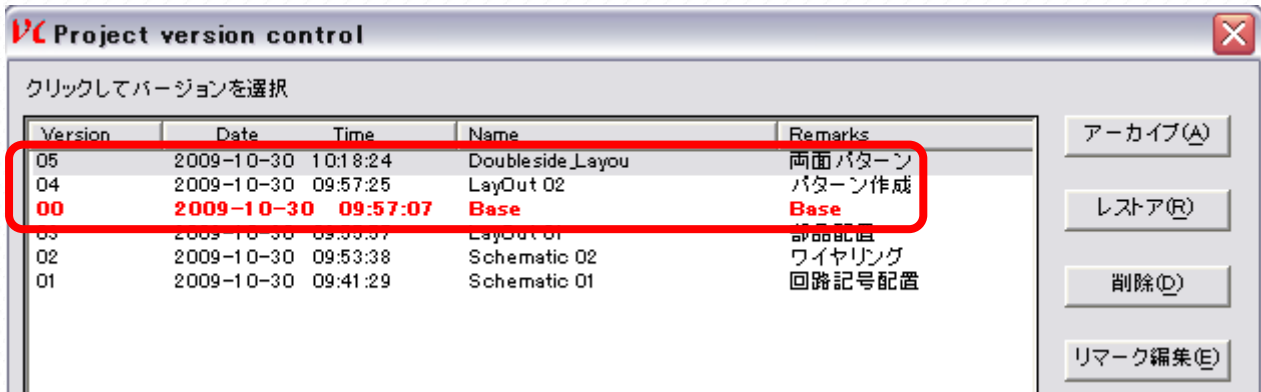


レストアを行うと選択したバージョンが読み込まれ、編集中のバージョンとして表示されます。

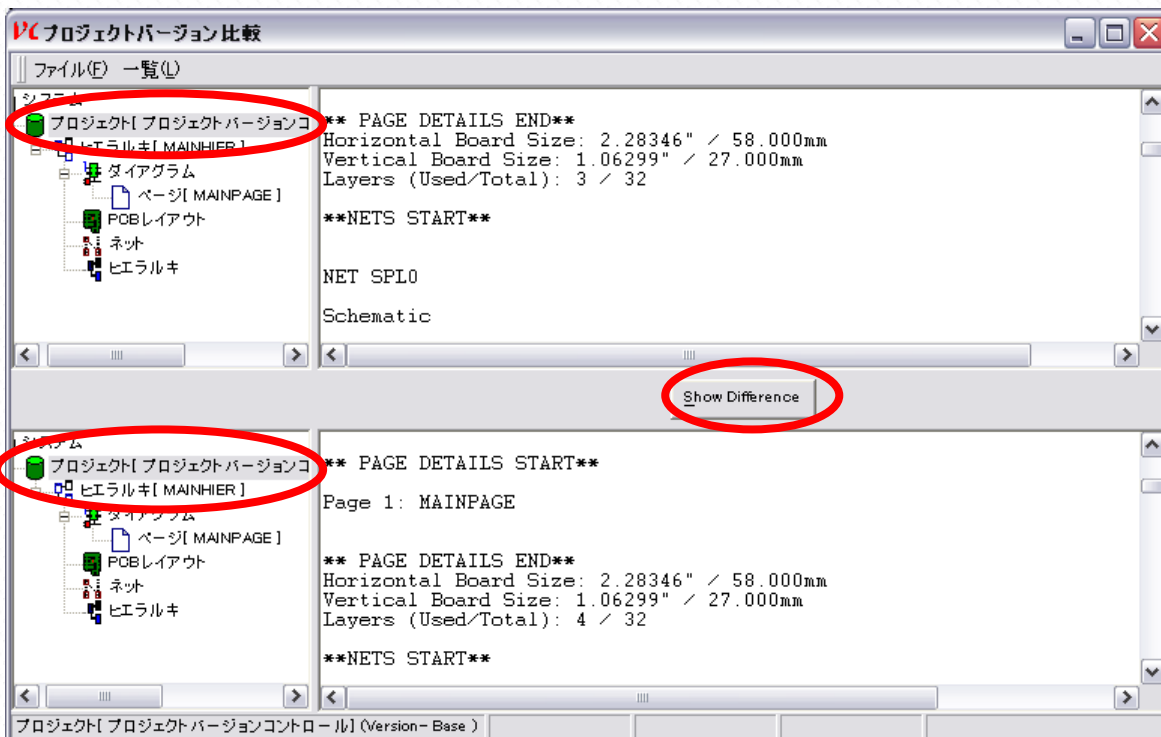
編集・上書きすると表示のバージョンへの上書きとなる為、両面パターン用の編集バージョンを“アーカイブ”してから作業を行ってください。



両面パターン作成後、プロジェクトバージョンコントロールでは編集中のバージョンと、選択したバージョンを“比較”ボタンで違いを見る事ができます。



それぞれ同じ項目を選択し、“Show Difference” をクリックします。



異なる記述の箇所がハイライト表示されます。

